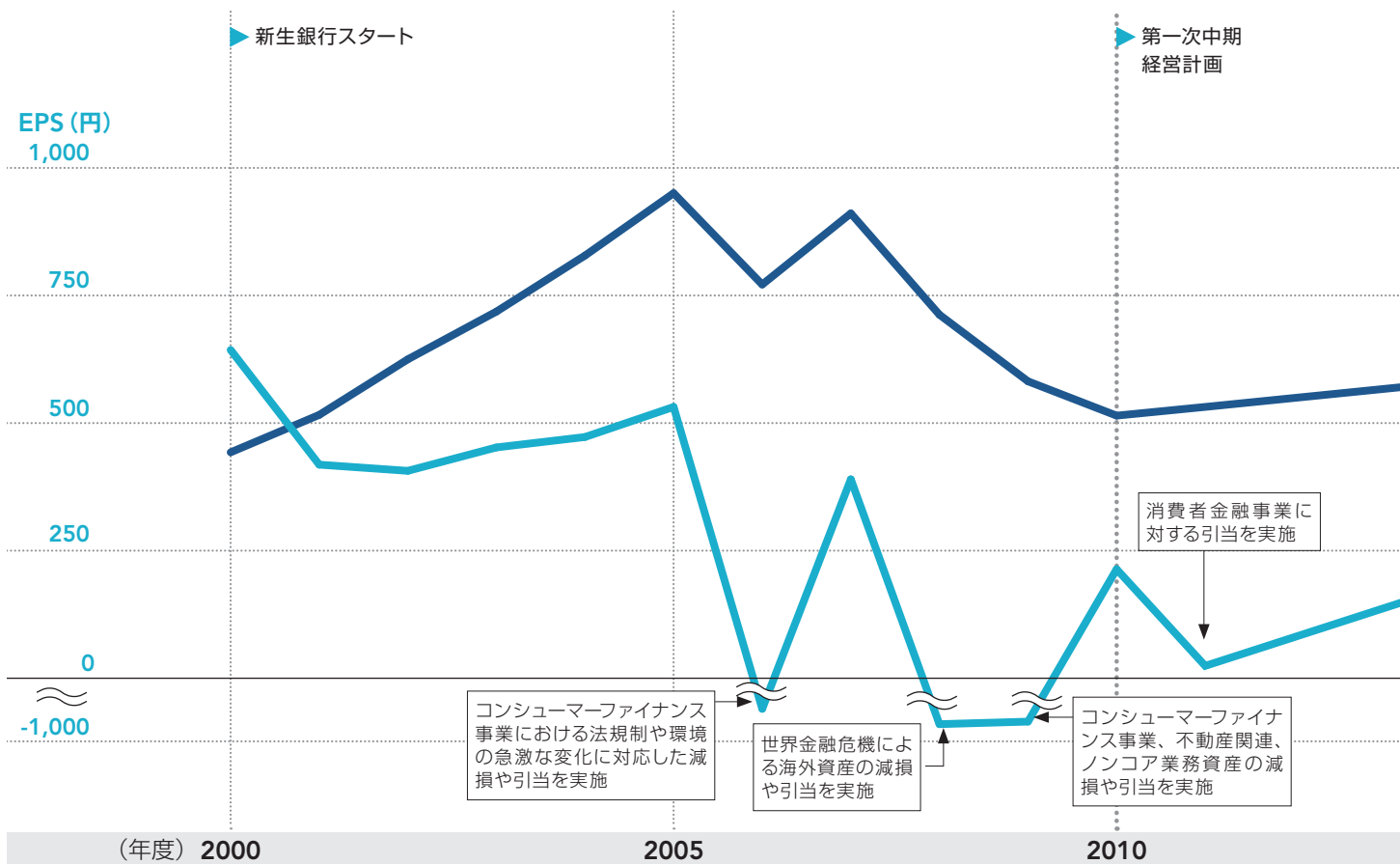


..... 新生銀行グループが考えてきたこと 新生銀行グループの進化



▶ 新生銀行グループ ▶ 外部環境 ▶ 株式の変遷

1998年

- ▶ 優先株式による資本注入

2000年

- ▶ 新生銀行スタート
行名を「日本長期信用銀行」から「新生銀行」に変更
- ▶ ITバブル崩壊
- ▶ 優先株式による資本注入および優先株式の一部無償減資

2001年

- ▶ 新生証券株式会社開業

2003年

- ▶ 新生インベストメント・マネジメント株式会社開業
- ▶ 普通株式2株を1株に併合減資

2004年

- ▶ 株式会社アプラス(現 株式会社アプラスフィナンシャル)を連結子会社化
- ▶ 東京証券取引所第一部に上場
普通銀行に転換

2005年

- ▶ 32色のカラーキャッシュカード発行
- ▶ 昭和リース株式会社を連結子会社化
- ▶ ペイオフ解禁

2006年

- ▶ 公的資金を一部返済
- ▶ 自己株式を消却

2007年

- ▶ シンキ株式会社(現 新生パーソナルローン株式会社)を連結子会社化
- ▶ 優先株式を普通株式に転換

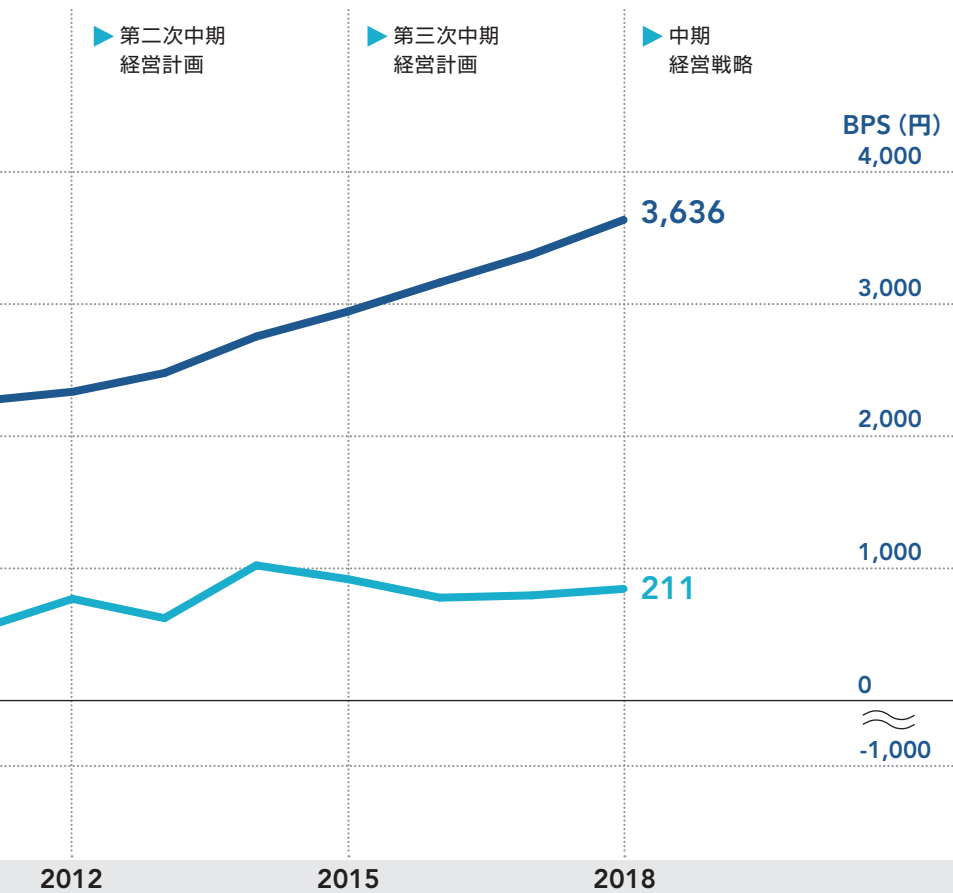
2008年

- ▶ リーマンショック発生
- ▶ 第三者割当増資による新株式の発行
- ▶ 優先株式を普通株式に転換
- ▶ GEコンシューマー・ファイナンス(現 新生フィナンシャル株式会社)を連結子会社化

2010年

- ▶ 欧州債務危機

2000年に「新生銀行」としてスタートして以降、アプラスフィナンシャル、昭和リース、新生フィナンシャルなどの買収を通じて新しい金融機能を獲得しながら、新生銀行グループの顧客基盤拡大と収益安定化を実現してきました。



(注) 2017年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。2016年度以前に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり数値を算出しています。

2011年

- ▶ 海外募集による新株式の発行

2016年

- ▶ 昭和リース株式会社を完全子会社化
- ▶ 新生フィナンシャル株式会社がベトナムでの個人向け無担保ローン事業へ進出
- ▶ マイナス金利政策導入
- ▶ 自己株式の取得

2017年

- ▶ 新生銀行グループ本社設置
- ▶ 自己株式の取得
- ▶ 普通株式10株を1株に併合

2018年

- ▶ 新生フィナンシャル株式会社が無担保ローン新商品「レイクALSA」(レイクアルサ)の取り扱いを開始
- ▶ 自己株式の取得と消却

2018年度以降の事業トピックス

2018年

4月

法人 ESG

子育て支援ファンドがAIを活用したタブレット教材の開発・提供を行う株式会社COMPASSに投資実行

10月

個人

新生総合口座パワーフレックスのお客さまを対象とした「新生ステップアッププログラム」を改定

個人

NTTドコモ回線契約者向け「新生銀行スマートマネーレンディング」の提供を決定

個人 法人

株式会社グローバルトラストネットワークスと外国人留学生支援ファンドを設立

11月

法人 ESG

新生企業投資株式会社が石灰石を主原料とする新素材LIMEXを開発・製造・販売する株式会社TBMに出資

12月

新生銀行グループ ESG

金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」の実施が累計1,000校を達成

2019年

2月

法人

ITフリーランス向けの金融・非金融の商品・サービスの共同開発および提供を目的としてギークス株式会社と業務提携

3月

新生銀行グループ ESG

社外取締役のみを委員とする任意の諮問委員会として「指名・報酬委員会」を設置

個人

オリコン顧客満足度調査「ネットバンキング」で3年連続1位を受賞

4月

個人 法人

顧客セグメントごとにグループ事業を一体運営する取り組みを開始

個人

ファイナンシャル・ジャパン株式会社(保険代理業)の株式を取得

法人

昭和リース株式会社が神鋼リース株式会社の株式を取得

5月

新生銀行グループ

中期経営戦略「金融リ・デザイン」(2019年度～2021年度)を策定

個人 法人

スルガ銀行との業務提携に関する基本合意を締結

グループ事業紹介

新生銀行グループは、従来型の金融商品・サービスでは満たされていないニーズを先んじて発見し、ソリューションを提供する金融企業グループです。グループの機能を活用し、個人・法人のお客さまに向けて、新生銀行グループならではの金融商品・サービスを提供しています。



個人業務

■ 業務粗利益

■ 与信関連費用加算後
実質業務純益

個人

●リテールバンキング

円預金・外貨預金、仕組預金、投資信託、提携先を通じた仲介業務、提携先を通じた生命保険・損害保険、住宅ローンなど、個人向けの金融取引・サービス

●新生フィナンシャル

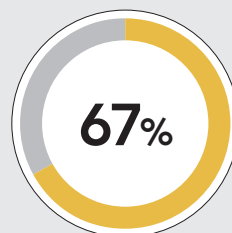
無担保ローン（レイク、ノーローン）および信用保証業務

●アプラスフィナンシャル

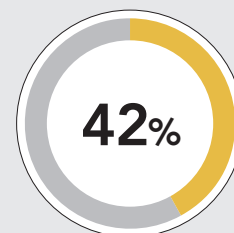
ショッピングクレジット、クレジットカード、信用保証、融資および集金代行サービス

●その他

コンシューマーファイナンス本部機能および
その他子会社の損益



1,557億円



233億円

法人業務

法人

●法人営業

事業法人、公共法人、金融法人向けの金融商品・サービス、アドバイザリー業務、ヘルスケアファイナンス業務、信託業務

●ストラクチャードファイナンス

不動産関連ノンリコースおよびコーポレートファイナンス業務、プロジェクトファイナンス業務、M&A関連ファイナンスなど
スペシャルティファイナンス業務

●プリンシパルトランザクションズ

クレジットトレーディング業務、プライベートエクイティ業務、
事業承継および転廃業支援業務、アセットバック投資など

●昭和リース

リースを中心とする金融商品・サービス

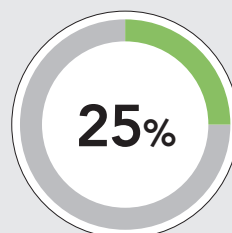
金融市場

●市場営業

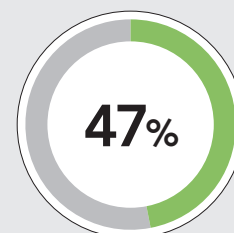
外国為替、デリバティブ、株式関連、その他のキャピタル・
マーケット業務

●その他金融市場

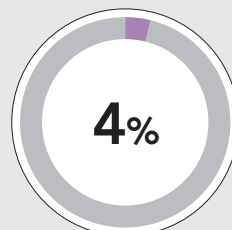
新生証券の損益、アセットマネジメント業務、
ウェルスマネジメント業務など



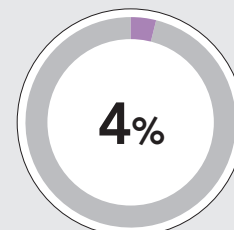
580億円



264億円



94億円

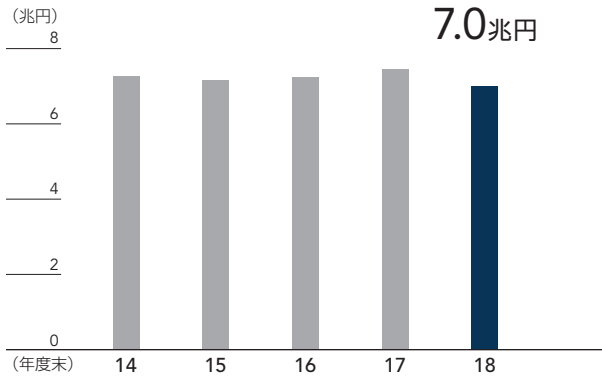


23億円

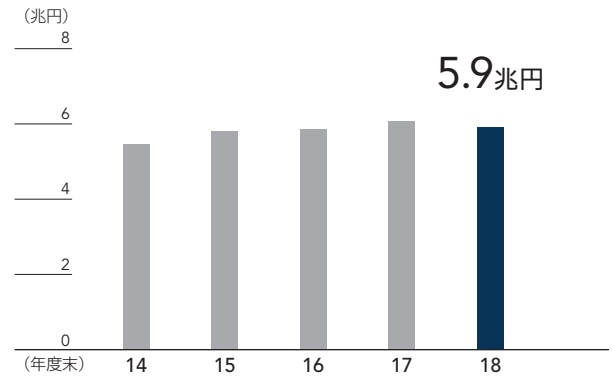
(注) 構成比の合計は、上記3業務以外に経営勘定/その他があるため、100%にはなっていません。

財務ハイライト

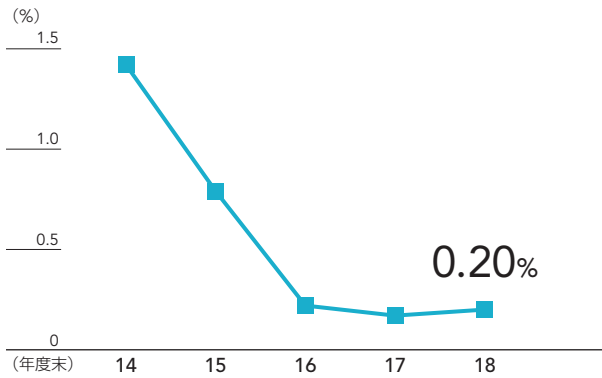
■ 営業性資産



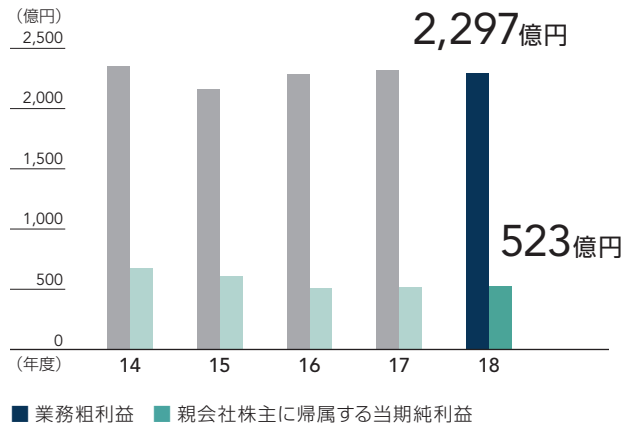
■ 預金残高



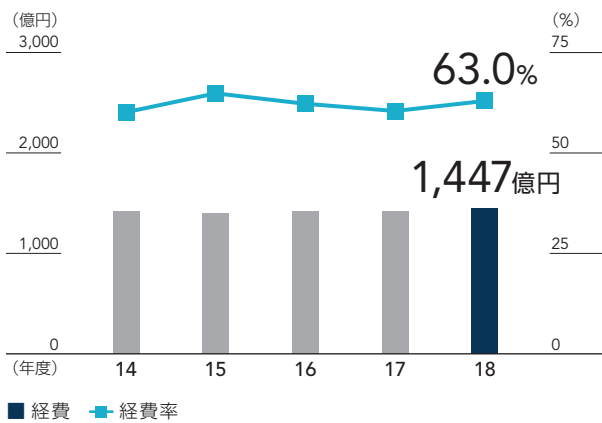
■ 金融再生法に基づく不良債権比率(単体)



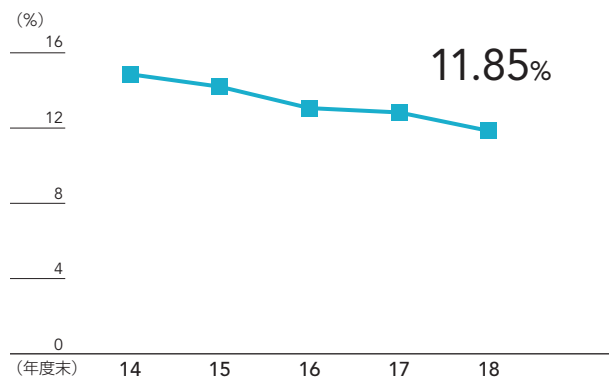
■ 業務粗利益/親会社株主に帰属する当期純利益



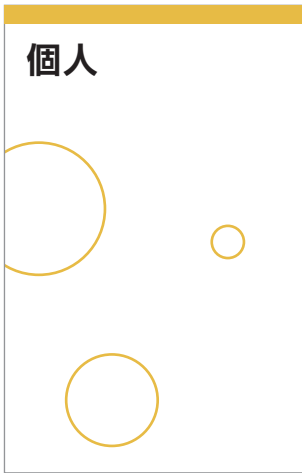
■ 経費/経費率(経営管理ベース)



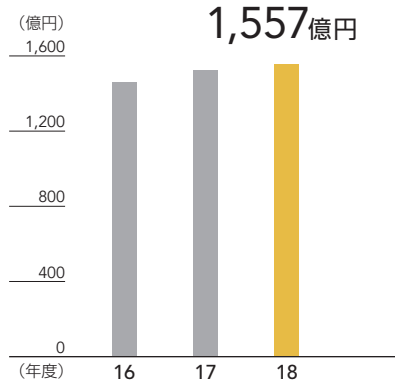
■ 連結自己資本比率(バーゼルⅢ、国内基準)



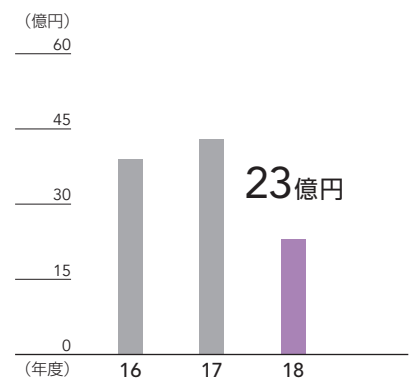
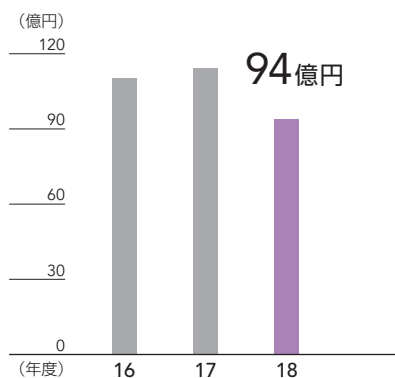
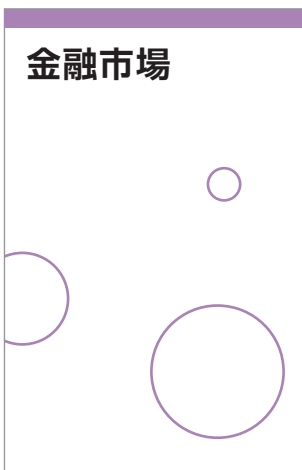
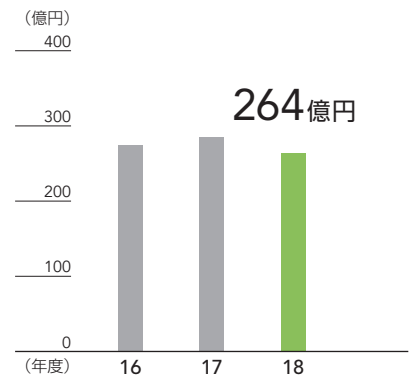
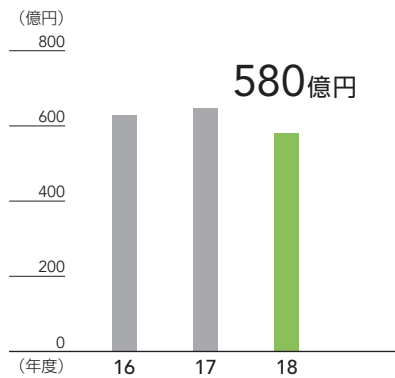
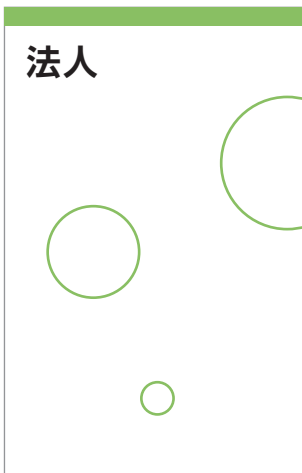
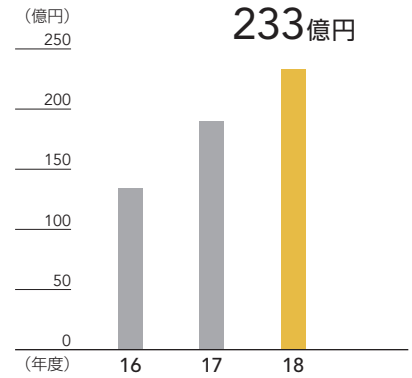
●●● セグメント別ハイライト



■ 業務粗利益



■ 与信関連費用加算後
実質業務純益



●●● 特徴あるビジネス

新生銀行グループは、レイクブランドで培った顧客基盤、マーケティング、与信・回収機能などに強みをもつ個人向け無担保ローンと、豊富な経験に基づく専門性、機関投資家とのリレーションなどに強みを持つ法人向けストラクチャードファイナンスといった特徴あるビジネスを推進しています。

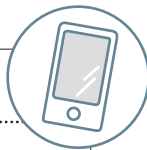
無担保ローンビジネス

レイクALSAの強みと戦略

- 大手ブランドとしてのレイクで培った顧客基盤、顧客データ
- ノンバンク由来の与信管理手法である従来型スコアリングモデルに加え、AIスコアを活用した与信・回収の高度化
- デジタル技術によるオペレーションコストの最適化
- 一定期間無利息サービス：新規利用のお客さまは①契約額が200万円以下で、お借入額のうち5万円まで180日間無利息、または②30日間お借入全額無利息
- お客さまご自身のスマートフォンが店舗の代わりとなり、24時間リアルタイムでお客さまの預金口座を通じたローンの借入れならびに返済が可能というように、場所と時間を選ぶことなくあらゆるサービスを受けることが可能
- 専用のカードを使ってコンビニで借入・返済が可能。2018年5月より、セブン銀行ATMでカードレス取引を開始

レイクALSA

レイクの70%のお客さまがスマートフォンで手続き



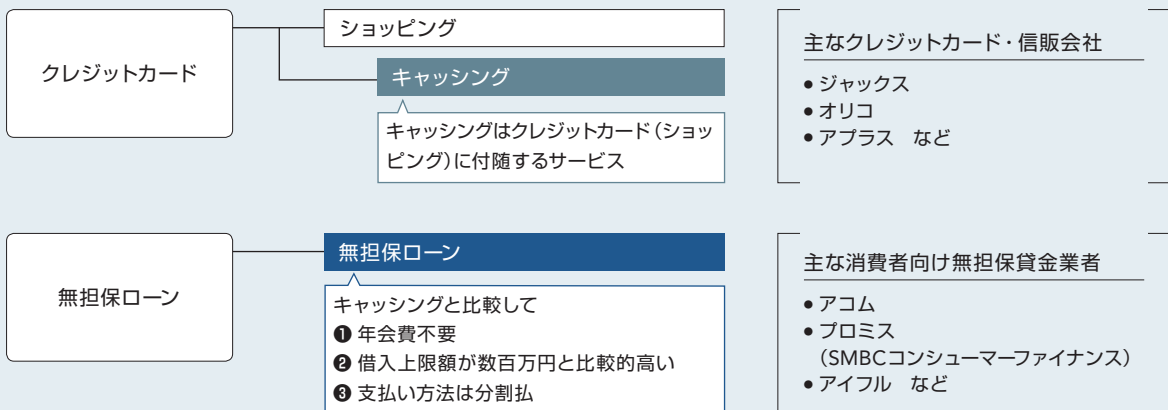
- 申込** 24時間いつでもスマートフォンから申し込み
- 審査** 審査結果は画面上からお知らせ
- 契約** 書類の提出はメールで
- 借入** 来店不要。お客さまの口座に振り込み

■ 無担保ローン新規顧客獲得数、成約率

	2016年度	2017年度	2018年度
新規顧客獲得数(千件)	155	162	113
成約率(%)	34	36	30

無担保ローンとキャッシングのサービスの違い

無担保ローンは、クレジットカードを持たないお客さまもスマートフォンやコンビニ・無人店舗のATMで、専用のカードを利用してお客さまの必要なタイミングでお借り入れができる消費者向けローンです。



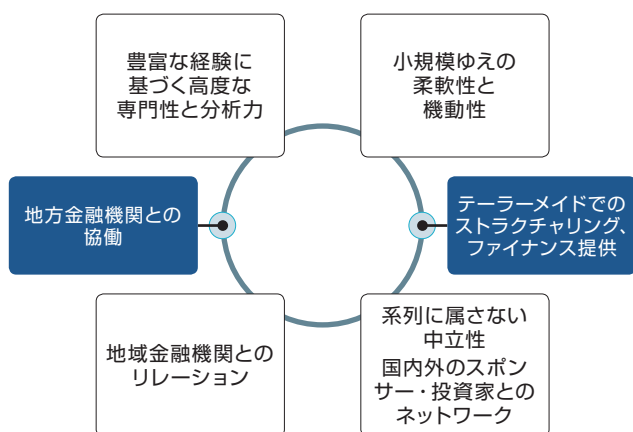
ストラクチャードファイナンスビジネス

新生銀行グループの強み

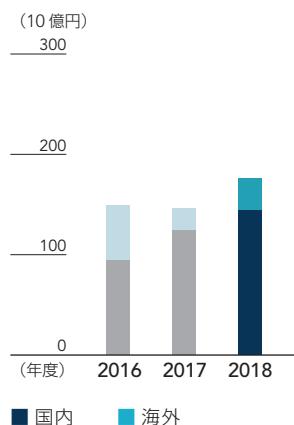
当行は、メガバンクでもなく、地域金融機関でもなく、以下のような強みを持つ独自のポジションにあります。

- メガバンクと比較して、案件を柔軟かつスピード重視で取り組むことができること
- 地域金融機関と比較して、豊富な経験に基づく専門性と分析力を有していること
- 特定の資本系列に属さないため、幅広いお客さまと中立的な立場でお取引できること

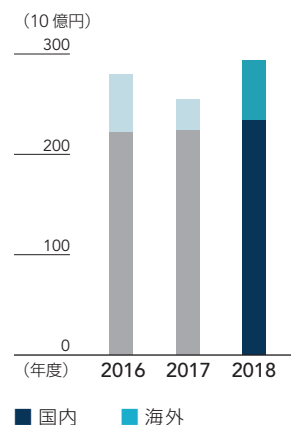
メガバンクとも地域金融機関とも異なる独自の
ポジショニングで付加価値を創出



■ 新規組成額
プロジェクトファイナンス



■ 新規実行額
不動産ノンリコース
ファイナンス



商品の仕組み

ストラクチャードファイナンスビジネスでは、主に再生可能エネルギー発電施設やインフラ設備を対象としたプロジェクトファイナンス、商業不動産を対象とした不動産ファイナンスに取り組んでいます。

